本号の主要記事

〇第２回全国理事会

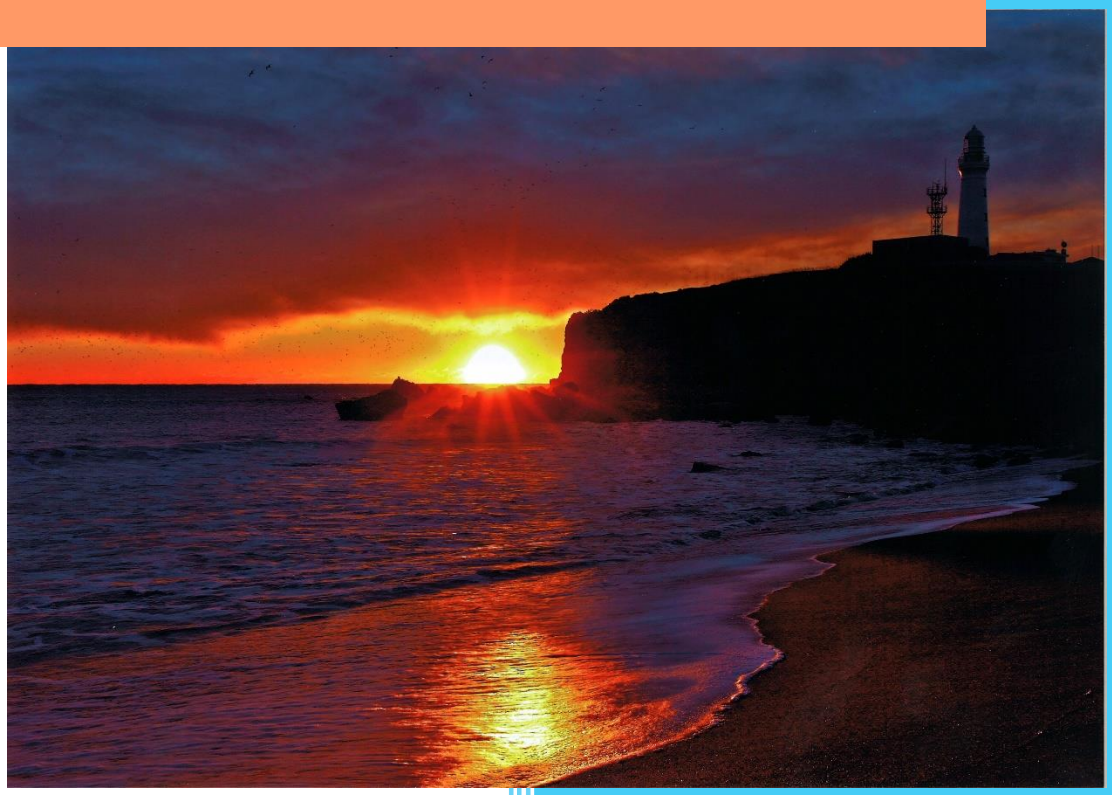
〇徳島大会決算報告

〇事務職員研修会

〇教職員等中央研修（第２回事務職員研修）

2017

# 協会ニュース　198 号



初日の出（千葉県銚子市犬吠埼）

提供：一般社団法人　銚子市観光協会

平成２９年１月１日発行

全国公立高等学校事務職員協会

http://zenjikyo.jimdo.com/

事務局：茨城県立並木中等教育学校

電話：029-851-1346

住所：茨城県つくば市並木 4-5-1

# 新年のごあいさつ

全国公立高等学校事務職員協会　会長　秋田　剛

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も本会活動に御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

次期学習指導要領等の改訂に向けて審議まとめが提出され、新しい時代に必要となる資質・能力の育成、開かれた教育課程の実現、教科・科目の新設・見直し、そして主体的・対話的で深い学びのアクティブラーニングの視点からの学習過程改善などがあげられています。また、学校における「カリキュラム・マネジメント」の実施を促進し、教育課程を軸とした学校教育の改善・充実の好循環を実現するとしています。

昨年の「チーム学校」における答申では、カリキュラム・マネジメントの実現にあたり「学校予算や施設管理等に精通した事務職員が大きな力を発揮することが期待されていると示されており、今回の学習指導要領の改訂の理念実現に向けて「チーム学校」として学校事務職員の役割も重要であると考えます。

しかし、学校事務職員としての専門性が必要とされながら、各都道府県の採用においては、学校事務職員としてではなく、一般行政職員として採用され、各自治体の他機関と人事が一緒のため、学校に勤務する事務職員の経験年数が短期間になっています。そのため、学校事務職員としての専門性や経験を積み、これからというときに学校とは違う機関への異動となり、チーム学校の実現に向けては良い状況ではありません。全国協会としては、このような状況を文部科学省に報告し、チーム学校実現に向けて働きかけてまいります。

さて、今年の全国研究大会は、石川県金沢市で７月２７日から２８日にかけて開催いたします。

北陸新幹線が開通し、東京から２時間３０分で行くことができます。石川県実行委員会と協力し、準備を進めているところです。石川県実行委員会では「ひゃくまんの　かがやき発見　い～じ石川」をキャッチフレーズにとし、北陸新幹線「かがやき」に乗り、「加賀百万石の地　石川県に来て、見て、たくさんの発見をしてほしい。」と待ち望んでいます。是非ともたくさんの方の参加をお願いいたします。

今年は、全国協会も創立７０周年を迎えます。全国協会の目的でもある学校教育効果の進展に寄与できるようさらに努力してまいります。

**平成２８年度**

**第２回全国理事会報告**

**期日：平成２８年１１月２５日(金)**

**会場：国立オリンピック記念青少年総合センター**

１１月２５日（金）国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）において今年度の第２回全国理事会が行われ、全国から都道府県市協会長が参集した。

理事会出席者は、協会役員を含め総勢６７名。以下のとおり全国理事会の概要を報告する。

＜報告事項＞

〇協会の活動状況及び情勢について

理事会資料の「全国理事会議案書」に基づき平成２８～２９年の主な活動内容の報告と今後の活動予定についての説明を行った。

〇第６９回全国研究大会の決算報告等について

山中実行委員長より、全国研究大会（徳島大会）の決算報告と参加者の集計結果の説明を行った。

また、大会に多くの方々（８３８名）が参加されたことに対して感謝の意が述べられた。

（収支決算報告は次のページに掲載）

〇第１回全国理事会及び第６９回全国研究大会並びに総会について

平成２８年８月３日～５日の三日間に渡る徳島大会の実績報告を行った。

〇全国調査について

「平成２８年度全国協会要覧」に掲載の全国調査集計結果についての説明を行った。

〇７０周年記念事業について

第７０回全国研究大会（石川大会）にて記念式典を実施するなどの説明を行った。

〇石川大会への追加補助について

資金不足が懸念される石川大会への追加補助について説明を行った。

〇東京都協会の活動休止について

東京都協会について協会としての活動は無くなるが会費は収めるので休会ではなく活動休止扱いとなると説明を行った。

＜審議事項＞

〇第６９回全国研究大会優秀研究発表者の表彰について

審査の経緯が報告され、最優秀は該当なし、最優秀に準ずるものとして熊本県と北海道の研究発表２本を推挙し表彰する旨の提案があり、承認された。

〇第１回全国理事会等の日程について

平成２９年７月２６日（水）石川県金沢市「ＡＮＡクラウンプラザホテル金沢」での開催を提案し、承認された。

〇第７０回石川大会並びに総会の日程について

石川県実行委員会より、以下のとおり提案があり、承認された。

・期　日：平成２９年７月２７日（木）～２８日（金）

・日　程：２７日１２：３０～１６：１０

（総会終了　１７：３０）

２８日９：００～１６：２０

・会　場：石川県立音楽堂（金沢市）

・全体会：記念講演　講師未定

＜連絡事項＞

〇協会要覧の配付について

１１月中に各協会長宛て各校１冊送付した。

〇「学校事務」誌への原稿依頼について

学事出版社刊の「学校事務」誌の特集、連載等の執筆者を募っている。研究部から、あるいは各協会長を通じて依頼があった場合には、是非引き受けていただきたい。

〇熊本地震義援金について

九州支部長、熊本県協会長、それぞれから感謝の言葉と次のとおり連絡があった。

・九州支部長：全国協会を通じて全国の会員からいただいた１８７万円を超える義援金について、全額を熊本県協会に送金した。

・熊本県協会長：いただいた義援金については被災した会員のために役立てたい。支援いただいた全国の会員に向け礼状等を作成し配布したい。

（総務部長　櫻井）

＜全国協会長あてにいただいたお礼状＞

昨年４月に発生しました熊本地震被害に際しまして、本協会から九州支部長を通じて義援金をお渡ししたところ、熊本県公立学校事務職員協会会長よりお礼状を頂戴しました。以下にその一部を掲載します。

**皆様から温かい義援金を頂きまして、誠にありがとうございました。熊本県公立学校事務職員協会を代表しまして、深く感謝申し上げます。**

**熊本県下、17万6千戸余りの家屋が被害を受け、本県協会も多くの会員が被災しました。今回頂きました御芳志につきましては、被災した本県協会員の支援のために、活用させて頂きます。全国の仲間の気持ちに添うべく、目下、その準備を進めているところです。**

**本県協会も皆様の励ましを基に、これまで以上に学校教育の充実・発展を目指して、一歩ずつ復旧・復興に向かい、頑張って行きたいと思います。**

**最後に、全国公立高等学校事務職員協会並びに会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、略儀ではありますが、お礼の挨拶とさせていただきます。**

（原文の一部を抜粋しました。）

## 第６９回全国公立高等学校事務職員研究大会収支決算書

収入決算額　8,346,690 円
支出決算額　8,346,690 円
差引残高　0 円

収　入　（単位：円）

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 大会参加費 | 3,268,000 | 3,352,000 | 84,000 | 参加費 4,000円×838名 |
| 負担金 | 5,397,000 | 4,840,000 | -557,000 | 協会本部 4,000,000円<br>四国支部 840,000円 |
| 補助金 | 150,000 | 150,000 | 0 | 教育公務員弘済会徳島県支部10万円，高教研５万円 |
| 繰入金 | 123,837 | 4,538 | -119,299 | 徳島県事務職員協会 |
| 雑収入 | 0 | 152 | 152 | 預金利息 |
| 合計 | 8,938,837 | 8,346,690 | -592,147 | |

支　出　（単位：円）

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 大会準備費 | 2,368,943 | 2,856,257 | -487,314 | |
| 旅費 | 1,750,138 | 2,061,473 | -311,335 | 実行委員会打合せ等 |
| 会議費 | 248,740 | 74,235 | 174,505 | 実行委員会会議費・会場使用料等 |
| 消耗品費 | 220,065 | 652,930 | -432,865 | 実行委員長印・ネームプレート・文具・用紙等 |
| 印刷製本費 | 50,000 | 32,900 | 17,100 | 各種資料等印刷 |
| 通信運搬費 | 30,000 | 18,014 | 11,986 | 各種資料等郵送料 |
| 報償費 | 40,000 | 16,705 | 23,295 | アナウンス練習講師謝金 |
| 使用料及び賃借料 | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 大会運営費 | 6,369,894 | 5,490,433 | 879,461 | |
| 旅費 | 260,360 | 37,935 | 222,425 | 文科省等講師・パネラー等旅費 |
| 会議費 | 821,000 | 821,000 | 0 | 全国理事会・常任理事会等会場使用料 |
| 消耗品費 | 452,827 | 189,120 | 263,707 | 大会運営・受付・記録用消耗品 |
| 食糧費 | 507,800 | 434,020 | 73,780 | 講師等昼食・お茶代 |
| 印刷製本費 | 508,460 | 504,468 | 3,992 | 大会要項・資料等印刷 |
| 役務費 | 0 | 1,500 | -1,500 | 会場ゴミ処理手数料 |
| 通信運搬費 | 50,000 | 2,860 | 47,140 | 各種連絡用郵送料 |
| 使用料及び賃借料 | 1,574,603 | 1,191,043 | 383,560 | 大会会場使用料・機器レンタル料 |
| 報償費 | 786,184 | 845,427 | -59,243 | 講師謝金等 |
| 委託料 | 1,408,660 | 1,463,060 | -54,400 | 旅行取扱い業務委託<br>大会運営業務委託<br>看板作成等 |
| 予備費 | 200,000 | 0 | 200,000 | |
| 合計 | 8,938,837 | 8,346,690 | 592,147 | |

**平成２８年度**

## 事務職員研修会

**・講演　「イクボス育成のススメ」**

**・班別事例演習**

**講師**

**（株）マネジメントサポート**

**マネジメントサポートグループ**

**研究開発専任講師室次長兼トレーナー**

**吉野　有紀　氏**

平成２８年１１月２５日（金）、第２回全国理事会の出席者も参加し、「イクボス※育成のススメ～育成すべきは若手よりミドルリーダーが先～」と題して、事務職員研修会が国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）において行われた。

昨年度に引き続き、講師に、株式会社マネジメントサポートから吉野有紀氏を招き、午前は講義、午後は全国から推薦された研修生６７名を班別に分け、事例演習・ロールプレイングによる研修を行った。

吉野氏は、「接遇マナー」「クレーム対応」「指導育成者研修」など企業・自治体において数々の研修指導に活躍しておられる。今回は吉野氏に、先輩と後輩、上司と部下との間でミドルリーダーとしての指導の在り方、自己信頼を取り戻す育てる作法の習得についてご指導いただいた。

以下はその概要である。詳細については会員専用サイトをご覧いただきたい。

※「イクボス」とは、「部下・スタッフのワークバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の実績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司」（イクボスプロジェクトＨＰより）

【目的・趣旨】

学校の組織運営の一翼を担う事務職員として必要な専門的知識・技能等を育成する。

中堅事務職員を対象に、強い信頼関係と良好なコミュニケーションを基礎として、先輩と後輩、上司と部下の関係など、ミドルリーダーとしての指導の在り方を考え、自己信頼を取り戻し、健全で自然な職場環境をつくるために求められる指導、育成のスキルを習得することを目指す。

また、職場のリーダーとして、良質な職場環境を継承し組織を発展させるために、今何をすべきかを考察する。

【テーマの背景】

平成２７年度の「育てる作法」研修は関心度も高く、実施後のアンケート結果において高評価を得たことや継続した研修内容の希望が多かったことなどから、第２弾として新人育成にあたる中堅層の課題解消に向けたテーマを設定した。

【対話式講義の主題】

**・人材育成の４本柱**

**・ＯＪＴとは**

**・３つのビジネススキル**

・２種類のコミュニケーション

【事例演習、ロールプレイング】

＜育てる作法の法則に沿って＞

良質な職場環境を継承するために、育てる作法の法則を守り、上位者が組織の将来を踏まえて、今何をすべきかを考えることで、組織を高みに向って動かす。

育てる作法の法則は、成長する組織に不可欠なルールである。

平成２８年度　事務職員研修会　参加者アンケート集計結果

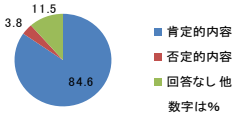
１　回答率

７７．６％（参加者６７名中、回答者５２名）

２　回答内容

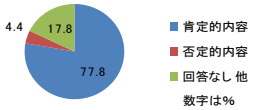
【問１】今回の研修の題材・内容についての感想

| | 件数 | 内容 |
|---|---|---|
| 肯定的内容 | 44 | 良かった、参考になった、職場で生かしたい 等 |
| 否定的内容 | 2 | 難しい、目新しくなく抽象的 |
| 他 | 6 | 回答なし5件 |



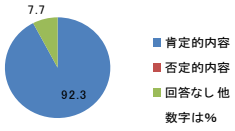

【問２】講演についての感想

| | 件数 | 内容 |
|---|---|---|
| 肯定的内容 | 35 | 分かりやすい、参考になった、理解が深まった 等 |
| 否定的内容 | 2 | 時間が少し不足している、難しい |
| 他 | 8 | 回答なし6件 |




【問３】事例演習、ロールプレイング、ディスカッションの感想

| | 件数 | 内容 |
|---|---|---|
| 肯定的内容 | 48 | すぐ実践したい、再認識することができた 等 |
| 否定的内容 | 0 | |
| 他 | 4 | もう少し時間があるとよい、回答なし2件 |




【問４】次回以降研修で取り上げて欲しいテーマ

（複数回答があったテーマ）

・今回と同様でよい　6件

・「チーム学校」関連　2件

・クレーム対応　2件

【問５】その他全国協会への要望等

・今後もこのような研修会を続けてほしい、増やしてほしい。　6件

・会場を是非被災地で

・全国から集まるのに１日ではもったいない　等

# 平成２８年度

# 教職員等中央研修

## （第２回　事務職員研修）

茨城県つくば市にある「独立行政法人教員研修センター」において、１１７名の参加者による平成 28 年度教職員等中央研修（第 2 回事務職員研修）が平成２８年１０月１７日（月）～１０月２１日（金）の日程で開催された。

この研修は、平成２７年１２月の中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」を背景に、昨年度までの「学校組織マネジメント指導者養成研修」が、今年度から「教職員等中央研修」として移行された研修である。

◆　目的

学校の適切な運営、特色ある教育活動の推進のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核として教育に取り組む管理職を育成する。

◆　主催

独立行政法人教員研修センター

◆　共催

文部科学省

◆　会場

独立行政法人教員研修センター

◆　受講者

（１）受講資格

高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の事務長、学校事務の共同実施におけるリーダー的な役割

を担う担当者またはそれに準じる者であって、今後、学校経営、教育実践において各地域の中核として活躍が期待される者。

（２）標準定員

６ユニット（１２０人）

【ユニット】　課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な演習や協議をより多く取り入れることで、研修効果を高めることを目的に、すべての受講者が積極的に発言し、思考を深めることができるように、２０名程度で構成。各ユニットではミーティング、ユニットをさらに細分化したグループでのクロストーク、リフレクション等を行い、アクティブ・ラーニング型研修の充実を図る。

協会からは、１０月２０日（木）～１０月２１日（金）の２日間、指導・助言者（実践報告・演習、ケース・スタディ）として以下の５名が参加した。なお、研修全般については、「学校事務　平成２９年３月号」で研修受講者による誌上報告が行われる予定なので、是非そちらもご覧いただきたい。

茨城県立並木中等教育学校

事務室長　　秋田　　剛

茨城県立結城第一高等学校

主査兼事務長　　富田　英明

群馬県立桐生高等学校

事務長（次長）　本田　弘二

群馬県立前橋南高等学校

事務長（次長）　櫻井　修史

千葉県立柏中央高等学校

事務長　　秋谷　京子

１０月２０日（木）

＜講義・演習＞

「求められる事務職員像－事務長らしい「働き方」－」

国立教育政策研究所初等中等教育研究部

総括研究官　　藤原　文雄

＜実践報告・演習＞

「学校事務職員の実践のフロンティア（実践報告）」

国立教育政策研究所初等中等教育研究部

総括研究官　　藤原　文雄

＜事例発表及び事例別分科会＞

①茨城県立波崎柳川高等学校

主査兼事務長　　齋藤　克久

②群馬県立前橋女子高等学校

事務長（次長）　浅岡　　守

③千葉県立袖ヶ浦特別支援学校

事務主幹　　左草　　節

１０月２１日（金）

＜ケース・スタディ＞

「学校運営事務の統括者としての学校運営への参画」～県立高等学校再編計画による中等教育学校開設準備～

国立教育政策研究所初等中等教育研究部

総括研究官　　藤原　文雄

## 本部活動報告

● 常任理事会（東京・小山台会館）

11/4　全国理事会及び石川大会分科会運営ほか

12/9　全国理事会運営・事務職員研修反省ほか

● 常任理事会（全体会）　東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

11/25　第２回全国理事会の運営について

● 第２回全国理事会

11/25　東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

● 事務職員研修会

11/25　東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

## 編集後記

日本の最東端は北海道の納沙布岬ですが、この季節は地軸の関係で、銚子市の犬吠埼での日の出が国内では一番早いそうです。

自然の雄大さと神秘を感じられる瞬間です。

次号「協会ニュース」では石川大会について、特集します。

〇全国協会 HP アドレス

http://zenjikyo.jimdo.com/

検索名は、「全国公立」または「全国公立高等学校事務職員協会」で可能です。

〇「協会ニュース」についてのお問い合わせ

ご連絡は次の広報部編集担当まで

・群馬県立太田女子高等学校／菊地

TEL：　0276-22-6651

FAX：　0276-22-4701

mail：kiku-ta@pref.gunma.lg.jp

・東京都立松原高等学校／橋村

TEL：　03-3303-5381

FAX：　03-3304-3062

mail：Ikumi_Hashimura@member.metro.tokyo.jp

・千葉県立松戸特別支援学校／川島

TEL：　047-388-2128

FAX：　047-388-4781

mail：t.kwshm10@pref.chiba.lg.jp